

留 学 報 告 書

記入日：2012年10月11日

所属学部／研究科・学科／専攻	情報コミュニケーション学部 / 情報コミュニケーション学科
留学先国	スウェーデン
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	リンシェーピン大学 Linköpings universitet
留学期間	2011年8月～2012年6月
留学した時の学年	4年生 (渡航した時の学年)
留学先での学年	4年生 (留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	Educational Sciences
帰国年月日	2012年6月20日
明治大学卒業予定年	2013年3月
留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期：8月下旬～12月中旬 2学期：1月中旬～6月中旬
学生数	約27,300人
創立年	1965年

留学費用項目	現地通貨 (SEK)	円	備考
授業料		円	協定校留学の為、明治大学にのみ納入
宿舍費	27,000	324,000円	
食費	12,000	144,000円	
図書費	2,000	24,000円	
学用品費	500	6,000円	
教養娯楽費	0	0円	
被服費	2,500	30,000円	
医療費	0	0円	
保険費	18,333	220,000円	形態：大学紹介のものに加入
渡航旅費	15,833	190,000円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	78,166	740,000円	

渡航関連

渡航経路: 成田～スイス チューリッヒ～スウェーデン スtockホルム

渡航費用

チケットの種類	Flex open
往路	_____
復路	_____
合計	190,000 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

HIS

滞在形態関連

1) 種類 (留学中の滞在先) (例: アパート、大学の宿舎など)

学生寮

2) 部屋の形態

個室 OR 相部屋 (同居人数 7 人)

3) 住居を探した方法:

大学に紹介していただきました。

4) 感想: (滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

部屋は大変広く、冬も暖房が整っているので快適に過ごすことができました。しかし、キッチンが共同なため、使用する人によってきれいであったり、汚かったりします。納得できない場合は必ず同居者と話す必要があります。

またサウナを予約すれば、一年中いつでも無料で使用することができます。よく利用しました。

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった
 利用した:

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

誰かに相談することはありませんでしたが、何かあれば国際交流事務室に問い合わせるようにしていました。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

リンシェーピングは大変治安のいい街なので、犯罪に巻き込まれることは大変稀だと思います。しかし、自転車についてはかなり気をつけた方がいいと思います。私は自転車を破壊されてしまい、買い替えました。寮のある Ryd は移民の子供が多く、彼らがたまに自転車を盗んだり、街で悪さをするということが有名でした。後は、Ryd centrum にある自転車屋さんが自転車を盗んでそれを売っているという噂もありました。鍵は必ず、鉄の頑丈なものを使用し、あまり見た目の良い新しい自転車に乗らないようにした方がいいと思います。

ただ、かなり治安が良く、問題は自転車だけなので、そこまで心配する必要はないと思います。

4) パソコン、携帯電話、インターネット (接続について) 現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

インターネットはかなり使用料金が安く、大学は登録すればどこでも WiFi を使用することができるので大変便利でした。学校に頻りに持っていったので、大きいノートパソコンを日本から持って行って大変後悔しました。

携帯電話は、安いスマートフォンを購入し使用していました 9 0 0 SEK 程度 (1 万円) で購入できます。ふつうの携帯電話を買うのとそれほど変わらないので、スマートフォンを購入することをお勧めします。スマートフォンであってもプリペイドが使用でき、1 年インターネットが無料で使用できました。Viber や Skype などのアプリケーションを使用すれば、ほとんどお金を使わずに使用できました。ただ購入する際にパーソナルナンバーが必要なので、スウェーデン人の友人と行って購入することをお勧めします。

日本のスマートフォンも機種によっては使用できるようです。

5) 現地での資金調達はどうに行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

Swedbank という銀行で口座を開き、そこに両親から送金してもらいました。スウェーデンはクレジットカードの使用がかなり進んでおり、普段はクレジットカードを使用していました。しかし、寮の家賃とインターネットの使用料金については、現金かスウェーデンのカードを使用しなければ手数料がかかってしまったので、口座を開設して正解だったと思います。送金の手数料は 8000 円くらいかかるようです。(銀行にもよると思いますが) なので、早いうちに、インターネットの料金と家賃を把握し、その一年分の金額とあとは旅行や雑費に使う分を送ってもらうといいと思います。どこでもたいていの場合クレジットカードが利用できたので、あまりキャッシュは使用しませんでした。送金の手数料を考えるとその方が良かったと思います。

あと、旅行の際に、外貨 (EUR 等) を他の国で ATM から引き出せました。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

特にありません。現地のもので生活するのも留学で大切なことだと思います。

スウェーデンはかなり便利な国なので、逆に日本から持って行き過ぎて後悔してしまう方が多かったです。

進路について

1) 進路

就職 進学 未定 その他: 教員

2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

新潟市教育委員会ホームページ、東京私学ネット、日本私学

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

私立 東洋高等学校 常勤講師

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。

(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス (準備、試験対策等) がありましたらお書き下さい。

7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

教員を志す皆さんへ、私は 4 年次に留学し、現地で教員採用試験の勉強をほとんど出来ずに帰国しました。教職を取りながら協定校留学をする場合は、教育実習の関係上、必ず大学に 5 年間在籍する必要がありますが、教員採用試験、特に公立を志望する場合、3 年次で留学し、一年余裕を持つことをお勧めします。また、私立の公募が帰国前に始まってしまい、教員免許取得見込証明書がないために出願をあきらめた学校が多数ありました。留学した場合の就職は大変困難なものとなります。もし 4 年次で留学し、私学の公募にも出願したい場合は、取得見込証明書をあらかじめ 5 枚ほど用意し持参することをお勧めします。資格課程事務室は、学部事務室のように、国際交流事務室とのつながりがありません。渡航前、帰国後の手続きをスムーズにするためにも、必ず訪問しましょう。また、これは就職には関係ありませんが、教職課程用の授業を履修し、単位を取得しても、教職の単位には変換できないので、気をつけてください。科目に関する科目も、学部の単位としては認められますが、教職の単位としては認められません。

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
83 単位		<input checked="" type="checkbox"/> 3 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：
Intensive Beginner's Course in Swedish for Exchange Students		交換留学生の初学者のための集中スウェーデン語講座
科目設置学部・研究科		
履修期間	8月2日～8月19日	
単位数	7.5	
本学での単位認定状況	0 単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）	
授業形態	講義（チュートリアル、講義形式等）	
授業時間数	1週間に360分が3～5回	
担当教授	Peder Johansson	
授業内容	このコースは、スウェーデン語の基本的な文法的知識や、言語運用能力を取得することを目標としている。日本の英語教育でいう中学3年間の文法事項を勉強する。このコースを終了すれば、ある程度簡単な日常会話や挨拶ができるようになる。教科書は、スウェーデンの文化や習慣の内容の文章も多く、先生がいろいろなことを説明してくれる。	
試験・課題など	試験は筆記試験と口頭質疑の試験で評価される、この他に定期的に Writing と Speaking の小テストがあり、この評価も加算される。	
感想を自由記入	日本語は、スウェーデン語と類似性がなく、また英語ですべてこなす必要があり、さらに一日に大量の内容をこなす必要があったためとても大変だった。ほかのヨーロッパの学生、特にドイツ人にとってはドイツ語がとても似ていてスウェーデン語を習得しやすいため、彼らと同じスピードで勉強していくことがとても大変だった。しかし、この集中講義でスウェーデン語だけに集中できたため、知識の定着がとてもよく、このあとのスウェーデン語の授業を効果的にすすめることができた。	

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：
Nybörjarkurs i svenska för utbytesstudenter, nivå 2		交換留学生のスウェーデン語初学者の為のスウェーデン語コース レベル2
科目設置学部・研究科		
履修期間	9月～12月	
単位数	7.5	
本学での単位認定状況	0 単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）	
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）	
授業時間数	1週間に180分が1回	
担当教授	Peder Johansson	
授業内容	集中講義で習得した文法事項や表現を使って、さらにレベルの高いスウェーデン語の運用能力の習得を目指すコースです。基本的にスウェーデン語で授業が行われ、内容も集中講義の時よりも複雑なものを扱うようになりました。	
試験・課題など	基本的に授業の形式はレベル1の集中講義と同じ	
感想を自由記入	最初、先生が英語を話さなくなって最初は大変戸惑いました。しかし徐々にわからない表現や単語の意味をスウェーデン語で質問するようになると、スウェーデン語を日常生活でも使えるようになっていきました。	

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Nybörjarkurs i svenska för utbytesstudenter, nivå 3	交換留学生のスウェーデン語初学者の為のスウェーデン語コース レベル3
科目設置学部・研究科	
履修期間	2月～5月
単位数	7.5
本学での単位認定状況	0 単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Åsa Tiri
授業内容	レベル2まで使っていた教科書を終了し、さらにレベルの高い教科書を使用して、スウェーデン語を学習します。内容は、社会問題や歴史問題、スウェーデンの風習などを扱うようになり、かなりレベルが上がりました。このコースを修了すれば、会話はほぼ問題なくこなせるようになり、新聞記事など難しい文章も、辞書を使えば読めるようになります。
試験・課題など	課題は基本的にレベル1と2と同じですが、筆記試験の際スウェーデン語→スウェーデン語の辞書が持ち込み可となります。
感想を自由記入	レベル2に比べ、授業時間が1時間短くなるうえ、勉強量はレベル2よりも多かったため、授業についていくのが必死でした。クラスメートはほとんど修士の学生で、スウェーデンに1年以上滞在しているもしくはドイツ人の学生だったので、クラス内のレベルも相当高かったと思います。しかし、このコースを終えて、自身の研究や教育実習にスウェーデン語を使えるようになったのは大きな成果だったと思います。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
A World Worth Taking Care of	世界への価値ある教育的支援
科目設置学部・研究科	Educational Sciences
履修期間	9月
単位数	7.5
本学での単位認定状況	0 単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義、ゼミ、インターネット（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に120分が2回
担当教授	Gunilla Fredriksson
授業内容	ミレニアム開発目標を検証していく授業です。開発途上国にいる子供たちが、ミレニアム開発目標の恩恵を受けているのか、教育的視点から検証していきます。貧困とはどういうことなのか、子供の権利を守るにはどうすればよいのか、また教師が子供たちに貧困問題を伝えるにはどうしたらいいのかなどを考える授業です。
試験・課題など	グループで文章を読みディスカッションのテーマを考える課題 ミレニアム開発目標についてのレポート（A4 8から10枚）
感想を自由記入	私が明治で所属するゼミのテーマと少し似ていたし、他の国の状況も知れたので、面白い授業だったと思う。しかし、グループワークや最終課題のために、大量の英文を読んだり書いたりしなければならなかったため、それをこなすのがとても大変だった。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Nordic culture		北欧文化（教育科学）	
科目設置学部・研究科	Arts and Sciences		
履修期間	9月から12月		
単位数	15.0		
本学での単位認定状況	0 単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義形式、実習形式（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に120分が1回		
担当教授	Bosse Hinnerson		
授業内容	<p>北欧の文化について勉強していく授業です。体験型の授業が多く、二回の研修旅行が必修となっています。最初はスウェーデンの田舎の方に、二回目はストックホルムに研修旅行に行きました。また、スウェーデンの料理を作る調理実習があったり、スウェーデンのフォークダンスを踊る授業があったりしました。教育の授業は、長靴下のピピや芸術作品を取り上げ、教育的観点からディスカッションする授業でした。内容はほかの授業とあまり変わらず、あまり教育学的とは思えない授業が多かったです。</p>		
試験・課題など	二つの研修旅行についてのレポートと、文化の定義についてのレポート		
感想を自由記入	<p>体験的な授業が多く、はじめはとても楽しかったのですが、課題のレポートのテーマがあまりに広いテーマであるのと、講義の内容が浅く、一般的な内容を扱うことが多かったため、途中で飽きてきてしまいました。また、私の場合、教授の手違いで成績が後期になってもつけてもらえず、帰国ギリギリまでやりとりをしていました。スウェーデンの民族音楽サークルとの出会いや留学生との交流の面ではとても評価できますが、課題と授業の内容に関しては、私にとってははまひとつ物足りないものでした。</p>		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Children and Family in a world of education		世界の教育における子供と家族	
科目設置学部・研究科	Educational Sciences		
履修期間	10月		
単位数	7.5		
本学での単位認定状況	0 単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	ゼミ形式、講義形式、インターネット（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に120分が2回		
担当教授	Gunilla Fredriksson		
授業内容	<p>子供と家族という言葉を目題に持ちながら、あまりその二点について深く触れない授業でした。子供の権利について勉強したり、様々な児童図書と比べたりしました。各国の教育制度を比較し、ディスカッションする場面が多く、学校も見学しました。</p>		
試験・課題など	<p>グループワーク、プレゼンテーション 課題論文をグループで読んで検証し、テストでは、教育問題についてプレゼンテーションしました。</p>		
感想を自由記入	<p>内容がWorld worth taking care ofと類似していて、少し物足りない感じがしました。しかしこの授業で初めてスウェーデンの学校を訪問し、実際に子供達が勉強している姿を見学できたり、現場で働く先生の話聞くことができたので、その点に関してはとても満足できました。テストに関しては、前回の授業のレポートがかなり大変だったので、少しやりやすく感じました。</p>		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
The Global Teacher in a multicultural world	多文化な世界におけるグローバルな教師
科目設置学部・研究科	Educational Sciences
履修期間	11月
単位数	7.5
本学での単位認定状況	0 単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	ゼミ形式、講義形式、インターネット、実習（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に120分が2回
担当教授	Gunilla Fredriksson
授業内容	この授業は Children and Family in a world of education で勉強した、各国の教育制度の違いについてさらに深く検証していく授業です。授業には5日間の教育実習も含まれていて、テストは各国の教育の違いについての短い映画を作りました。
試験・課題など	教育実習、グループワーク、映画撮影
感想を自由記入	今まで履修していた授業に比べて、教育実習も行わなければいけなかったため、とても忙しいヶ月となりました 教育実習は、隣町の Norrköping にある中学校で行いました。英語と数学の授業を中心に先生の下で授業を見学したり生徒の質問に答えたりしました。最後の授業では、日本を紹介する授業を行いました。担当の先生は、イギリスから来た英語の先生でしたが、スウェーデン語がとても上手で、スウェーデン語で数学を教えるなど、大変驚きました。 教育実習以外では、やはり最終試験で作った映画がとても印象に残りました。ほかの国の留学生に書道を体験してもらったり、友人のアイルランドの民族舞踊の授業を受けたりと大変面白い内容でした。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Introduction to Special Education in a Swedish Context	スウェーデン的社会背景における特別支援教育学への導入
科目設置学部・研究科	Educational Sciences
履修期間	1月～3月
単位数	7.5
本学での単位認定状況	0 単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義形式、ゼミ形式（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に120分が2回
担当教授	Kicki Hellberg
授業内容	スウェーデン的な視点から、特別支援教育を考えていく授業です。サラマンカ宣言に書かれている理想的な特別支援教育にいかにか近づいていけるかを考えるとともに、学校が抱えるジレンマや矛盾、そしてスウェーデンに多い移民への配慮などについて勉強していきます。 2・3校ほど学校に訪問する機会もあります。
試験・課題など	グループワークによるプレゼンテーション、レポート
感想を自由記入	日本であまり学ぶことができなかった特別支援教育についてたくさん学ぶことができたと思います。特に、私はサラマンカ宣言に日本が調印しているという事実を知らず、さらには法律の日本語の表現を少し変えて、日本が批准しているかのように対応していることがわかりとてもショックでした。また、日本において対応の遅れている学習障害や発達障害についてスウェーデンのケアの仕方を学ぶことができてよかったとともに、日本にはない移民へのスウェーデン語の授業やケアなどの分野があることもわかりました。この授業の後で、教育実習に行き、特別支援クラスに多く出向くことになったので、とても充実した授業でした。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Teaching practice	教育実習
科目設置学部・研究科	Educational Science
履修期間	
単位数	8.0
本学での単位認定状況	0 単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義形式、実習形式（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に120分が不定期回
担当教授	
授業内容	教師になるためには、どのような資質が必要なのか、教室をどのようにマネジメントしていけば良いのかを講義で学び、それを実習で実践するという授業です。小学校、中学校、高校の中から希望を申請し、実習校を決めます。
試験・課題など	実習期間20日間、それについてのレポート
感想を自由記入	スウェーデンの高校に実習に行きました。私の教員免許は英語ですが、スウェーデンの高校を知るために、様々な授業を見学しました。実際に授業をすることもありましたが、スウェーデンの高校はレベルがとても高いので、大学で話すような内容をプレゼンテーションしました。日本の文化や、日本の人口学、地理学、日本の余暇の過ごし方を説明しました。また、特別支援教育のクラスに参加し、発達障害や学習障害を持つ子供たちに英語を教えたり、またスウェーデン語を第二外国語として勉強している移民の子供たちのクラスにも参加しました。日本の教育と教育理念が大きく違い、戸惑うことも多かったですが、大変貴重な経験でした。

留学に関するタイムチャート

留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。
(形式は箇条書きなど簡単なもので構いません)

2011年 1月～3月	選考をパスし、手続きのための書類をそろえたり、ヨーロッパで旅行をしたかったので、バイトをしてお金をためていました。ただ英語の能力をTOEFLの受験後低下させられなかったため、個人的に語学学校に通い英語の授業を受けていました。
4月～7月	地震の影響から、授業開始が遅れました。教育実習で地元に戻り東京を離れなければならなかったため、早めに手続きを終わらせることに必死でした。教育実習終了後も、引越しや荷物のパッキングで多忙な日々を送っていました。
8月～9月	8月の2日から授業が始まりました。8月はスウェーデン語の集中講義に参加し、週末以外は朝から晩までスウェーデン語を必死に勉強する日々が続きました。スウェーデン人、留学生ともに友人がすぐにでき、パーティーにも積極的に参加していました。
10月～12月	授業の進め方に慣れ、英語、スウェーデン語の能力も伸びて、コミュニケーションを取ることを楽しめるようになりました。このころから、East Asian association という学生団体に積極的に参加し、スウェーデン人の日本語の学習を手伝ったり、イベントの企画運営に関わり、働いていました。また Nordic Culture の授業で知り合った、スウェーデン民族音楽のサークルに入れてもらい、活動に参加し始めました。活動がスウェーデン語で行われたため、急激にスウェーデン語の能力が伸びました。
2012年 1月～3月	半年留学を終了した学生が帰国し、雰囲気が一変しました。スウェーデン語がかなり上達したのと、新しい留学生との関わりが少なかったため、スウェーデン人の友人と時間を多く過ごしていました。また、今まで履修していた先生とは別の先生のコースを履修し始めました。授業の雰囲気や進め方が変わりとても新鮮でした。特に、特別支援教育についての授業は、日本の特別支援教育と考え方が違うところが多く、日本で研究していた経験のある先生とも関わることができたので、とても面白かったです。
4月～7月	留学の期間が残りわずかになってしまい、できるだけ多くの人と関わられるように時間配分を考えながら行動していました。3月までも一分一秒無駄にしまいと行動していましたが、この頃になるとさらに一秒の重さを感じられました。 イースターの休暇を利用して、アイスランドに旅行に行ったり、最後帰国前に台湾人の友達と中央の国々を旅行したりしました。 6月に帰国後は、すぐに就職活動にシフトしました。まだ居住先がなかったので、実家と東京を行き来しながら生活していました。
8月～9月	8月の下旬から、徐々に応募できる学校が増え、履歴書の作成や私学適性検査のための勉強におわれていました。9月の頭に常勤講師の仕事の内定をいただきました。私学の公募については10月がピークなので、早い段階で内定をもらうことができ、よかったですと思います。